南部中ホームページ （http://www.nanbu-chu.ed.jp/）はこちらから →

南部町立南部中学校　学校だより　R8第2号

城山の風

令和8年4月22日（水）

校長　樋口信也

吹奏楽部　たけのこまつり出演

４月１２日（日）南部町役場本庁舎前で開催されたたけのこまつりに南部中吹奏楽部が出演しました。今年も発表出演者としてはトップバッターでした。「負けないで」「マツケンサンバⅡ」「小さな恋のうた」「世界に一つだけの花」の４曲を演奏しました。今年は演奏はもちろんですが、曲と曲の間の話にも力を入れたようで、寸劇ありのおもしろいトークで観客を楽しませていました。また、本校卒業生で身延高校吹奏楽部の志村凛さんも一緒に演奏してくれました。



３年生　修学旅行

４月１４日（火）から１７日（金）までの３泊４日で修学旅行に行ってきました。

１日目の広島では本場のお好み焼きを食べた後、路面電車に乗って平和記念公園に行きました。平和記念公園に入ってまず目にするのは原爆ドームです。話としては聞いていた原爆の恐ろしさを現実のものとして強く実感したことと思います。今年は、ボランティアガイドによる碑めぐりをしました。私が同行したグループでは、原爆死没者慰霊碑、平和の池、平和の灯、韓国人原爆犠牲者慰霊碑、原爆供養塔などについて丁寧に説明していただきました。次に、原爆資料館に行き、被爆体験講話を聞きました。お話をしてくださったのは、脇舛友子（わきます　ともこ）さんで、脇舛さんは３歳の時に被爆しました。全身に放射線障害があり、仰向けでも、うつ伏せでも、左を下にしても呼吸が苦しくなり、右を下にしてしか眠れないそうです。朝が来ると、「今日も生きられた」とほっとし、生きられる一日一日がとてもうれしいとおしゃっていました。その後は、原爆資料館を見学し、最後に平和の子の像の前で献鶴式を行いました。望月幸芯さんが平和への誓いを読み、千羽鶴を納め、全員で黙祷しました。唯一の戦争被爆国である日本に生まれ、広島平和記念公園を訪れることはとても大きな意義があります。未来へと平和をつなげ



ようとする人になってほしいと思います。
　２日目は、薬師寺と奈良公園と法隆寺を全体見学しました。薬師寺ではお坊さんのお話を聞きました。奈良公園と法隆寺では、現地のガイドの方に説明をしていただいたので、とてもわかりやすく勉強になりました。また、法隆寺夢殿の救世観音像が特別公開中で、国宝の秘仏を拝むことができました。



　３日目は、京都のグループ別自主見学でした。タクシーを使い、伏見稲荷大社、東寺、金閣寺、北野天満宮、広隆寺など、それぞれが立てた計画に従って見学しました。とても楽しかったらしく、集合場所の妙心寺で運転手さんと名残惜しそうにお別れをしていました。そのあと、妙心寺退蔵院で座禅体験をしました。



　最終日は、清水焼の絵付け体験をして、清水寺をグループ別見学し、帰路につきました。
　この４日間で、戦争と平和、日本の伝統文化や歴史について理解を深めました。また、公共のマナーについて学ぶ機会もありました。修学旅行で得たものを一過性のものにしないで今後に生かしていってほしいと思います。

２年生　県内めぐり

　２年生は、４月１６・１７日の１泊２日で県内めぐりをしました。
　１日目は、甲府市内のグループ別自主見学でした。徒歩や電車・バスで、善光寺、武田神社、舞鶴城公園、県立美術館、県立科学館、裁判所、印伝博物館などを見学し、ゴールの石和源泉足湯ひろばを目指しました。どのグループも協力しながら楽しく見学することができました。バスに乗り、宿泊場所である朝霧野外活動センターに向かいました。朝霧では、ナイトハイクなどをして、みんなで楽しく過ごしました。
　２日目は、河口湖音楽と森の美術館を見学し、吉田のうどんを食べ、リニア見学センターをグループごとに見学しました。



　県内めぐりは、ミニ修学旅行とも言えるものです。この取組を通して学んだことを、修学旅行につなげていきます。